

二〇二二年度法科大学院入学試験問題

小論文

注意事項

- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答用紙は一枚配付します。
- III 解答にあたっては、黒ボールペン・黒インクのペンのいずれかを使用してください（ただし、インクがプラスチック消しゴムで消せないものに限ります）。それ以外で解答用紙に記入した場合は、無効とします。また、解答用紙欄外へ記入されているものは採点の対象としません。
- IV 解答を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、一行の場合には横線で消して、その次のマス目から書き直してください。（余白には書かないで下さい。）修正液・修正テープを使用してはいけません。
- V 解答は横書きで記入してください。
- VI 試験時間は六〇分です。
- VII 問題は八ページで一問です。

問題 次の文章を読んで、後の問い合わせに答えなさい。

著作物の関係上、本文については、ホームページ上での公開および印刷物での配布は行つておりません。

〔問〕 今日デジタル・テクノロジーが飛躍的な進歩を遂げ、社会に大きな変革をもたらしています。問題文を読み、その功罪とともに社会のデジタル化を今後より有用で適切な方向に発展させて運用していくための方策について、あなたの意見を八〇〇字以内で述べなさい。